学校番号	３１２

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	「改訂版　現代文Ｂ」（数研出版）						
副教材等	「プレミアムカラー国語便覧」（数研出版） 「常用漢字ダブルクリア三訂版」（尚文出版） 「現代文　解法のテクニック　２（標準編）改訂版」（啓隆社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・文章をただ読むだけではなく、理解を深める読み方をしましょう。評論では指示語や接続詞に注意し文の構成を理解し、筆者の考えを読み取りましょう。小説では、その行動はどのような心情からなのかを読み取りましょう。その上で、内容をより丁寧に読み解く努力をしましょう。
・漢字の書き取りの小テストを実施します。漢字は正しく丁寧に書き、言葉の意味も理解しおきましょう。日々の積み重ねで語彙を増やせるように取り組みましょう。

２　学習の到達目標

・文章を読み、構成、要旨、展開、書き手の意図などを、とらえられるようになる。また、表現を味わったり、身近な問題として関心を持ち、豊かな想像力をもち、ものの見方や考え方を深めたりする。
・目的や場にふさわしい語句を選び、適切に思いや考えを表現できるようになり、論理的な思考力を身に付けられるようになること。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 （発問と応答） 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （意見発表の意欲と的確さ）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析（ワークシート） テキストの音読 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート、意味調べ等） 定期考査 漢字小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1	評論一	国境を越える言葉	○	○		○	○	a: 教材の内容に関心を持っている。範読・音読・指名読みの態度は積極的である。 b:朗読を通して、文章の展開や要旨は的確にとらえられている。 d: 文章の構成を確かめ，筆者が主張する「もう一つの言葉」について的確にとらえている。 e:全文を正しく音読できる。語句の意味・用法を理解し、表現上の特色をとらえている。	授業観察 ノート点検 定期考査
		手の変幻	○	○		○	○	a:教材の内容に関心を持っている。範読・音読・指名読みの態度は積極的である。 b:朗読を通して、文章の展開や要旨は的確にとらえられている。 d:抽象的な表現の内容を的確に説明し，筆者の着眼点のおもしろさをまとめている。 e:語句の意味・用法を理解しているか。本文中に多く登場する外来語について意味を把握し正しく扱うことができる。	授業観察 ノート点検 定期考査

	小説一	「山月記」	○	○	○	○	○	a:日本の近代小説や、教材の内容に関心を持っている。範読・音読・指名読みの態度は積極的である。 b:人物の心情や情景を把握して朗読することができる。朗読を聞きながら情景を的確にとらえ、表現を味わうことができる。『山月記』のテーマや登場人物の心情について積極的に話し合い、それらをまとめて発表することができる。 c:李徴の人物像についてまとめることができるか。李徴が虎になった理由として李徴が考えたことを、順を追ってまとめることができる。『山月記』という作品の特徴をまとめることができる。 d:「臆病な自尊心と、尊大な羞恥心」という表現を用いた理由について理解できる。「人間は誰でも猛獣使いであり、その猛獣にあたるのが、各人の性情だ」という表現の内容について理解できる。 e:全文を正しく音読できる。難解な語句の意味を文脈に即して理解し、漢文訓読調の文体の特徴をとらえ味わうことができる。中島敦とその作品に関して理解している。	授業観察 ノート点検 定期考査

2	詩	永訣の朝 小諸なる古城のほとり	○	○		○	○	a:本文中の難解な語句や表現を、国語辞典などを用いて調べている。 b:作品全体の構成や情景描写の特徴を理解している。 d:関連する他の作品を読むなどして、作者への理解を深めている。 e:古語表現が現代語としてどのように活用されているかを理解している。	授業観察 ノート点検 定期考査
	評論二	「具体」から「抽象」へ	○	○	○	○	○	a：教材の内容に関心を持っている。範読・音読・指名読みの態度が積極的である。 b：朗読を通して、文章の展開や要旨は的確にとらえられている。 c： 本文から言葉の性質を理解し，言葉の長所と短所を簡潔にまとめている。 d：具体例から筆者の見解をとらえ，事物を抽象的にとらえることができる。 e：全文を正しく音読できる。	授業観察 ノート点検 定期考査

	小説二	「こころ」	○	○		○	○	a: 夏目漱石や、教材の内容に関心を持っている。 b: 人物の心情や情景を把握して朗読することができる。朗読を聞きながら情景を的確にとらえ、表現を味わうことができる。 d: 「K」の告白を聞いた時の「私」の心理と、次第に「K」を「魔物」のように意識していく「私」の心の推移を読み取ることができる。「K」の「覚悟」ということばを「私」はどのように解釈し、どのような行動に出たかを読み取ることができる。「K」の自殺に直面した「私」の心の動きを読み取ることができる。 e:現在ではあまり使われていない語彙について、調べた上で理解している。	授業観察 ノート点検 定期考査
3	評論三	未来世代への責任	○	○		○	○	a:教材の内容に関心を持っている。範読・音読・指名読みの態度が積極的である。 b:論理を押さえながら朗読したり、文章の展開や要旨をとらえたりできる。 d:各意味段落の役割に注意して読み，環境問題について筆者の意見の論理をとらえている。 e:全文を正しく音読できるか。語句の意味・用法を理解している。	授業観察 ノート点検 定期考査

3	評論四	日本語は非論理的か	○	○	○	○	○	a：教材の内容に関心を持っている。範読・音読・指名読みの態度が積極的である。 b： 論理を押さえながら朗読したり、文章の展開や要旨をとらえたりできる。 c： 筆者の考えをふまえて，コミュニケーションについて意見を書くことができる。 d：文章の筋道を的確にとらえ，その論理性を評価している。 e： 全文を正しく音読できる。	授業観察 ノート点検 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:書く能力　d:読む能力　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。